

科目名	デジタル回路 A, B	科目コード	21286
-----	-------------	-------	-------

学科名・学年	電気工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	中村 奨（電気電子システム工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30，演習0，実験0，その他0】
教科書	藤井信生著，デジタル電子回路，昭晃堂
補助教材	
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

本講義では，現在のデジタル社会を支えるコンピュータ，インターネット，通信等すべての電子機器を構成する基本部品であるデジタル電子回路の設計方法を習得する．複雑なデジタルシステムも，基本的には2～3種のデジタル演算回路の組み合わせに過ぎず，この基本回路の動作を十分に把握しておくことは，いかなる複雑なデジタル回路の設計，解析にも重要である．

関連する科目：電子計算機，電子回路，シミュレーション工学，

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(C)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
組み合わせ論理回路について理解する．	20%	C 3
論理関数の簡単化について理解する．	20%	C 3
クワインマクラスキーの方法について理解する．	20%	C 3
フリップフロップについて理解する．	20%	C 3
順序回路について理解する．	20%	C 2

【C．履修上の注意】

トランジスタの小信号動作，電気回路の過渡応答，論理関数に関する基礎的な知識を理解していることが望ましい(電気回路学，電子回路学，論理数学)．

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

定期試験（100％）【内訳：後期中間0，後期末100】

その他の試験（0％）

レポート（0％）

その他（0％）

【E . 授業計画・内容】

後期

回	内容	備考
1	<u>4章組み合わせ論理回路</u> 組み合わせ論理回路の解析	
2	組み合わせ論理回路の実現	
3	論理関数の簡単化	
4	クワインマクラスキーの方法(1)	
5	クワインマクラスキーの方法(2)	
6	組み合わせ論理回路の簡単な例	
7	<u>5章フリップフロップ</u> フリップフロップの原理	
8	JKフリップフロップ	
9	同期式 2^n 進カウンタ	
10	<u>6章順序回路</u> 順序回路の基本構成	
11	同期式順序回路の解析	
12	非同期式順序回路の解析	
13	順序回路の実現(1)	
14	順序回路の実現(2)	
-	後期末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	